

地元産業界等と連携した実践的 PBL を含む授業科目等

【授業科目】

問題発見演習Ⅱ、基礎演習Ⅱ

【連携している地元産業界等の組織名称】

那覇市議会

沖縄大学と那覇市議会は、2023 年に包括連携協力に関する協定を締結し、同協定に基づく具体的な連携方法等を定めた覚書を締結している。

【当該授業等を実施する学部・学科】

人文学部 国際コミュニケーション学科

人文学部 こども文化学科

【当該授業等を開講する目的】

那覇市が抱える実際の地域課題を題材として、学生が主体的に課題を発見・設定し、情報収集・調査、課題分析、グループでの議論及び政策提案の作成に取り組むことを通じて、地域課題を多角的に捉え、その解決に向けた具体的な提案を行う力を身につけることを目的とする。

また、那覇市議会との連携のもと、学生が議員との意見交換を通じて実務的な視点から助言を受け、政策提案の内容を検証・改善することで、課題発見・解決力、情報収集・分析力、コミュニケーション力及び協働する力を養う。

【当該授業等の具体的な内容】

◆ 学生主体による地域課題の検討・テーマ設定

学生は、自らの興味・関心を踏まえ、那覇市が抱える地域課題についてグループで話し合い、取り組むテーマを設定する。

◆ 地域課題に関する情報収集・調査及び分析

設定した地域課題について関連する情報や資料を収集し、課題の現状、背景及び要因等について調査・分析を行う。

◆ グループでの議論及び政策提案の作成

調査・分析した内容を踏まえ、グループで議論を重ねながら、地域課題の解決に向けた政策案を検討し、具体的な政策提案として取りまとめる。

◆ 那覇市議会議員との意見交換及び政策提案の改善

学生が作成した政策提案について那覇市議会議員との意見交換を行い、議員から実務的な視点による助言を受ける。

学生は、議員との対話を通じて新たな視点や課題に気づき、提案内容の検証及びブラッシュアップを行う。

◆ 「那覇市若者ミライ議会」における政策提案

調査、分析、グループでの議論及び那覇市議会議員との意見交換を通じて作成した政策提案については、授業・演習で取り組んだ学習成果として、正課外活動として実施する「那覇市若者ミライ議会」において学生自ら発表し、市長、副市長及び行政各部局との質疑応答や意見交換を行う。

2026 年度は、学生の政策提案を実際の陳情として議会への提出につなげることも視野に入れ、学生の学習成果を実社会に接続する実践的な課題解決型学習 (PBL) として展開する。